

「当たり前」のことが「いつまでも続く」ことを

現在起っている地球規模での地域紛争は、第三次世界大戦の様相をおびている。日本においても、近隣諸国との友好関係に亀裂が入ることはあっても友好の深まりは少しも見えてこない。そんな中での政権与党が、集団的自衛権を拡大し、地域紛争の解決につなげるのだと主張する。

他のケンカに首をつっこんで、問題は解決するのだろうか？ケンカを起こさせないための方策を政治に反映させることこそが問われているのではないだろうか。

そんな状況の中においても、人々は日々「食べ」「寝て」「活動」しているのだ。そのことが「当たり前」に「続く」ことのどれほどありがたいことかを、過去の2度の対戦が教えてくれたはずである。

「当たり前」のことを「続ける」「続く」ことに価値があることを、のらえもんは一番大切にしていきたいと思う。「続く」ことは、争いのないことを意味しており、「工夫」「改善」のできる時間があることを意味しているからだ。

14年目ののらえもんは、18回の活動+αを実施できた。毎年同じような活動が大半である。が、タイトルは同じようでも、参加者、時間、天気、雰囲気、社会状況などは一つとして同じではなかった。だから新鮮さがあり、続いていることで工夫・改善がなされていたのだった。

そんなことを頭に描きながら今年度をふり返ってみると、最もインパクトのあった活動は、26名で富士山に挑戦したことではないだろうか。そして、26名のうち24名までが登頂したのだ。小学1年生から67才までの年齢層であった。

5時間の登りに耐えて、やっと頂上に着いたときの気持ちは、身体がふわふわしているようで、顔の表情が自然にほころんできた。

思えば1年前から鳴虫山・高尾山・日光男体山などを登り、この日のために備えてきていたのだった。

十分な計画と準備があって、富士山登頂という目標を達成したのである。この意義を、参加した家族はもちろんのこと、そうではない家族の皆さんも共有して欲しいと思う。

「ローマは一日にして成らず」である。目標に向かって計画を立て、あわてずゆっくり一歩ずつ進めばいいことなのだ。

田植え・稲刈りは、宅間様のご協力です5年目となる。初めは、田んぼに入ることにすら恐る恐るであった。「3本ぐらい植える」という意味をやっと理解できるようになってきたのは、つい最近である。なんども「くり返し」をやってきた成果である。「くり返し」のできる時間があったのだ。稲刈りでは、3畝の稲を全部刈り取ることができなかった。4年目にして初めて、植えた苗を穂のつけた稲として、のらえもんの参加者だけで全部刈り取る事ができたのだった。そのときは、みんなで「ヤッター！」と叫んだものだ。

一方、宅間さんは、田植えだけでは物足りないだろうと、田植えの後のイベントを用意

してしてくれた。イチゴ狩り・ほうれん草とチンゲンサイの収穫・空豆の収穫などである。畑から野菜を自身の手で収穫する体験は、野菜への関心を高め食したときの味を深めさせてくれた。

また、この田植え・稲刈り体験学習は、鹿浜西小では8年目を迎え、北三谷小にも伝えられて2年目になる。

さらに、稲刈りで生まれたわら（藁）を使ってしめ縄づくりも継続されているのだ。自分が育てた稲、そのわらでしめ縄をつくって1年をしめ、さらに新しい年を迎える希望につながっている。毎年迎える新しい年は、けっして同じ年ではない。「続いて」いるからこそ「未来志向」できるのだろう。

藤原での里山体験活動も4年目を迎えた。今年度は、4月の野焼き体験、7月のキャンプ、9月のしそジュースづくり、10月の茅刈りと紅葉、3月の雪原遊びを実施した。どの活動も宿泊をとまなうものだが、藤原に流れるゆったりした時間、山川草木の命の息吹、民宿の皆さんの温かさ、山菜・岩魚・野菜・米などの食料の豊かさ、お店やお金がなくても暮らして行けそうな雰囲気、どんな子どもみんなすぐに友だちになれる不思議さ、そんなことを感じるのだった。

家族で参加すれば、交通費や宿泊費で大きな負担になるのだが、今、子どもたちにここでの生活体験をさせておきたいという願いにかられるのだろう。

田植え・稲刈り・ハゼ釣り・注連縄づくり・スキー・キャンプ・藤原での里山体験・カイコやサケの飼育・桜見物など、回数を重ねるたびに新しい発見・反省・工夫改善があり、だからこそ全体としての進展がある。つまり「当たり前」のことが「続く」ことで生まれてくる「力」だと思う。

のらえもんはこの「力」を一つ一つの活動の中で生み出し、次世代につなげていくことを心から欲するものである。

そうして、なによりも「命」を大切にできる行為を最も大切に価値あるものだという生き方が広がることを願って止まない。

最後になりましたが、のらえもんの活動は、たくさんの方々のご協力によって進めることが出来た。田んぼ体験の宅間様、藤原での里山体験ではコラボとしてご指導いただいた森林塾青水の皆様、カイコの卵を提供して下さった大日本図書の牧野様、ハゼ釣りでは福藤様、そしてスタッフの皆様。最大の功労者は、参加していただいたのらえもんの会員の方々である。皆様に深く感謝したい。

さらに、これらの活動には足立区協働パートナーからの助成金をいただいた。藤原での活動の心強い推進力になったことを申し上げたい。古民家の再生やしそジュースづくりの一つ一つが現実のものとなっていった。また、田んぼ体験活動では、麒麟福祉財団よりご支援をいただき、活動の輪を深める事ができた。

今年度の活動があったからこそ、次年度の活動が見えてくる。さらに内容を深める活動を目指したいと、決意を新たにしているしだいだ。

26年度 活 動 報 告

回	実施日	活動内容および講師	場所	参加者
1	4月5日(土) 午前11:00～ 午後3:00	・五色桜観察会 ・春の生き物さがし ・カブトの幼虫 (72匹配布)	都市農業公園	大 15 中 0 小 21 幼 2 計 38
2	4月26(土) ～27(日)	のらえもん自然塾⑤ ・・ 早春の里山散策 野焼き見学・・・ 共催：森林塾青水	みなかみ町 藤原集落 現地集合 民宿：関ヶ原 無料バス	大 11 中 4 小 10 幼 1 計 26
3	5月18日(日) 全日	田植え、空豆収穫体験 講師 宅間 広 カイコの卵配布 カイコの紙芝居完成披露 帰京後反省会	宅間農家 アサヒビール工場 見学 バス	大 31 中 1 小 27 幼 3 計 62
4	6月 1(日) 10時～15時	のらえもんフェスティバル ・新会員紹介 ・夏の生き物観察 ・バーベキュー	舎人公園 キャンプ場	大 31 中 3 小 26 幼 3 計 63
5	7月25(金) ～27(月)	のらえもん自然塾⑥ キャンプ体験 5回目 ・テント生活と サバイバル術の習得	藤原集落 宝台樹キャンプ場 現地集合	大 17 中 5 小 13 幼 2 計 37
6	8月23(土) ～24(日)	富士山登山 ・ 2年越しの願い! ・ 24名登頂!!	富士山富士宮口 7合目1泊 5合目集合	大 13 中 3 小 10 幼 0 計 26

7	8月30(土) ～9月1(月)	のらえもん自然塾⑦ しそジュース作り ・しそジュース100%!	藤原 民宿: ロッジ樹林	大 2 中 0 小 1 幼 0 計 3
8	9月6(土) 午後2:30～ 清掃活動 午後3:00～ ハゼ釣り	ハゼ釣りと清掃活動 講師 福藤 恭司 全部で21匹 (ハゼ18, チチブハゼ2) カニ1	荒川 (森口船宿付近)	大 12 中 0 小 9 幼 0 計 21
9	9月14(日)	稲刈り、JAXA見学 田んぼの生き物観察 講師 宅間 広 帰京後反省会	宅間農園 JAXA(午前中)	大 23 中 2 小 16 幼 2 計 43
10	9月21(日)	あだちNPOフェスティバル 2014に初参加 ・体験コーナー ・しそジュースの試飲	足立区役所中央館 1階アトリウム	大 9 中 0 小 3 幼 0 計 12
11	10月 25(土) ～26(日)	のらえもん自然塾⑧ 紅葉と秋の七草観察 共催: 森林塾青水	藤原集落 宿泊: 関ヶ原 無料バス	大 6 中 1 小 6 幼 1 計 14
12	11月 8(土) 13:30～ 15:30	木工クラフト 共催: 生き生き館 鹿西開かれた学校協 議会	鹿西小体育館	大 1 中 0 小 4 幼 0 計 5
特	11:30～ 12:30	*のらえもん米の新米販売	いきいき館駐車場	281kg
特	11月15(土) ～17(月)	武尊山事前調査 ・次年度のキャンプで登 るため ・雪のため、避難小屋まで	藤原集落 武尊山 宿泊: 関ヶ原	大 3 計 3

13	12月6日(土) 13:30～ 15:30	冬の生き物しらべ サケの受精卵配布 今年は日本海側の卵!	都市農業公園 新芝川	大 8 中 0 小 6 幼 1 計 15
14	12月20日(土) 13:00～ 15:00	注連縄をつくろう 稲刈りをしたわらを使って	上沼田小学校 家庭科室	大 7 中 1 小 10 幼 0 計 18
15	1月31日(土) ～2月1日(日)	第7回スキー教室	菅平ダボスゲレン デ 宿泊:菅平プリン スホテル バス	大 20 中 3 小 8 幼 1 計 32
16	2月14日(土) 13:30～ 15:30	おふろ楽器作り 講師:小日山 裕也	上沼田小学校 家庭科室	大 11 中 0 小 14 幼 1 計 26
17	2月28日(土) 13:30～ 15:30	サケの放流と サケの一生の紙芝居 梅見物 栗原北小学校2年生18人	都市農業公園 新芝川	大 3 中 0 小 2 幼 1 計 6
18	3月7日(土)～ 8日(日) 1泊2日	のらえもん自然塾⑨ 雪のある生活体験 そり・かんじきで山歩き かまくら・ぼたづくり 共催:森林塾青水	藤原集落 民宿:ロッジ樹林 現地集合	大 9 中 3 小 4 幼 0 計 16

26年度参加者 大人232、中学生26、小学生190、幼児18、合計 466

* 生物教材配布

○カブトの幼虫配布・・・およそ100匹

のらえもん会員、
鹿浜こども園、伊興保育園

○カイコの卵配布・・・鹿浜こども園、伊興保育園、江北保育園、チェリー幼稚園

上沼田小、鹿浜西小、北鹿浜小、鹿浜第一小、本木小

○サケの受精卵の配布・・・鹿浜こども園、伊興保育園

チェリー幼稚園
上沼田小、北鹿浜小、本木小、高野小、
栗原北小、中川小、根津小、浮間小
のらえもん会員

* のらえもん米の感謝購入

- ・ のらえもん会員 380 kg
- ・ 北三谷小5年生 250 kg
- ・ 北三谷小給食用 30 kg
- ・ 鹿浜こども園 もち米16 kg

* のらえもん出前授業

○さけの一生・・・・・・・・・・北鹿浜小学校2年生

・・・・・・・・・・本木小学校杉の子学級
・・・・・・・・・・千寿小学校2年生

○カイコの育ち方・・・・・・・・・・北鹿浜小学校2年生

○草木染め・・・・・・・・・・鹿浜こども園

・・・・・・・・・・伊興保育園

○しめ縄づくり・・・・・・・・・・鹿浜こども園

・・・・・・・・・・伊興保育園

○ 田んぼ：田植え・・・・・・・・・・北三谷小5年生

稲刈り・・・・・・・・・・北三谷小5年生